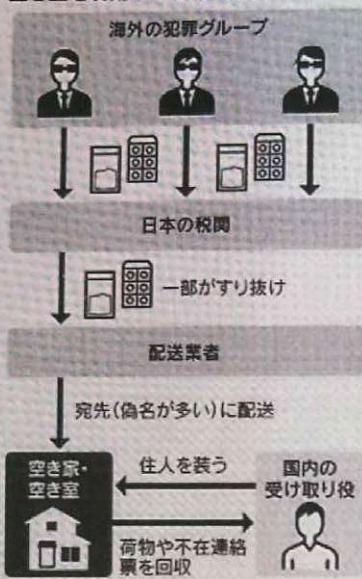


# 密輸薬物 宛先は空き室

空き室を利用した密輸の手口(イメージ)



## Approach

不正薬物の密輸に空き室が使われるケースが目立ってきた。きっかけは新型コロナウイルス禍の入国制限だ。従来の持ち込みができなくなったり、代わりに国際郵便物や航空貨物に隠す手口が急増。制限緩和後も続いている。荷物の回収役をSNS(交流サイト)で募るなどして密輸がより身近な犯罪になる恐れもあり、警察や税関当局が警戒を強めている。

「報酬が欲しくてやつて逮捕した不動産仲介会

た」。警視庁が2022年12月に覚醒剤取締法違反(當利目的輸入)容疑

で逮捕した不動産仲介会社の40代の男は、取り調べにこう供述した。男は

覚醒剤約1・9kg(未

端価格約1億1700万円)を3Dプリンターで

使う材料に隠して航空貨物を

輸出。東京都内のアパートの空き室前で受け取った疑いがある。

警視庁は男を内偵捜査し、空き室前に「置き配」

されれた薬物入りの荷物を回収しようとしたところ

で逮捕された。男は無許可使用が禁止され

たのは空き室だった。男

たのは空き室だった。男